

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和06年11月21日

計画の名称	袋井市における安全・安心なみちづくり											
計画の期間	平成31年度 ~ 令和05年度 (5年間)										重点配分対象の該当	
交付対象	袋井市											
計画の目標	幹線道路の拡幅や歩道整備により、歩行者や自転車の安全で快適な交通空間を確保するとともに、自動車走行の円滑化を図り、全ての人が災害時においても移動しやすい安全・安心なまちを形成する。											
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	441	A	441	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0 %

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H31当初)	中間目標値	最終目標値 (H35末)
1	対象路線における歩道整備により、歩道整備率を0.0%(H30末見込み)から100.0%(H35末)に向上させる。 歩道整備計画延長に対する整備状況から歩道整備率を算出する。 (歩道整備率) = (歩道整備済延長) / (歩道整備計画延長) × 100	0%	%	100%
2	集落から避難先までの移動時間の短縮 幹線道路整備により、集落から避難先への移動に要する時間が短縮された割合を算出する。 (移動時間短縮率) = (整備によって短縮された時間) / (整備前の移動時間) × 100	0%	%	6%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---	-----------	---------------

A 基幹事業																				
基幹事業(大)	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												H31	R02	R03	R04	R05				
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
道路事業	A01-001	街路	一般	袋井市	直接	袋井市	S街路	改築	(都)諸井山の手線	歩道整備 L=0.58km	袋井市						441	-		
											小計						441			
											合計						441			

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
数値目標の達成状況や事業効果の発現状況を検証し、その結果を踏まえて都市整備（街路）部局により評価した。	令和6年11月
	公表の方法 袋井市ホームページにて掲載
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・整備が完了した（都）諸井山の手線では、歩車道の分離により、歩行者・自転車等の安全が確保され、安心して通行できる道路へ改善した。</li> <li>・集落から避難先への移動時間については、当路線の整備が完了したことにより、10%短縮され、目標を大きく上回る効果が得られたため、避難先までの円滑な移動が可能となった。</li> </ul>
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	（都）諸井山の手線は袋井市城南西部から市の都市拠点である袋井駅周辺を結ぶアクセス道路としての位置付けを担っており、本路線の整備により利便性の向上が図られた。また、本路線の終点部において、主要地方道袋井大須賀線との交差部が変則であり、交通事故も数件発生し危険な状況であったが、変則な交差部が解消され道路利用者の安全につながった。
特記事項（今後の方針等）	
今後も引き続き、安全・安心なみちづくりを行うとともに、利便性に優れた道路整備に努め、事業を推進していく。	

目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因	
1	指標 歩道整備率		
	最終目標値	100%	予算の集中化により、（都）諸井山の手線について、計画どおり事業が完了した。
	最終実績値	100%	
2	指標 移動時間の短縮		
	最終目標値	6%	移動時間短縮率10%に短縮され、目標値を大きく達成することができた。
	最終実績値	10%	